

令和元年度市町村職員先進施策調査研修

AI・RPA活用による業務効率化コース (R1.10.30~31)

参加人員 7市1団体 計14名 オブザーバー参加(県市町村課)

◎愛知県一宮市

一宮市は、令和3年度に中核市移行を控え、それに伴う業務量の増加が見込まれる中、今後、人口減少等に伴いより少ない職員での行政運営が必要になることを見据え、AI・RPAに任せられる作業は自動化し、住民への直接的なサービス提供など、職員でなければならない業務に注力するという「スマート自治体」の考えのもと、市民税課の次の4業務について、AI・RPAによる事務の自動処理を行うことによりどの程度作業時間や経費が削減できるか実証実験を行った。

(実証実験業務)

- ①年金情報異動入力
- ②特別徴収異動届入力
- ③年度切替処理入力
- ④事業所税申告書入力



◎愛知県東郷町

東郷町は、職員の負担軽減、行政サービスの向上、人的ミスの回避及び働き方改革の一つとして、より効果的にRPAの導入について検討するため、実証実験を行った。

(実証実験業務)

- ①音声書き起こしソフトによる会議録作成
- ②口振(申請書)データ入力
- ③要介護認定申請(書)入力業務
- ④後期高齢者医療保険還付先口座登録業務
- ⑤日常生活用具(申請書)入力業務
- ⑥後期高齢者医療保険料還付・充当入力業務



地方創生・地域商社と六次産業化コース (R1.11.28~29)

参加人員 6市1町 計12名 オブザーバー参加(県市町村課)

◎石川県羽咋市

羽咋市は、市主導で『地域商社』を推進し、全国の地域商社や地域企業等と連携したコラボ商品・特産品の開発、ICT・IOTを活用した流通・販売戦略システムの構築等の取組みを通して地域経済の活性化と「稼ぐ仕組み」の構築による『共創のまちづくり』を推進している。

また、日本で唯一、車で走れる砂浜である「千里浜なぎさドライブウェイ」付近に整備した「道の駅のと千里浜」を地域産物の単なる売り場ではなく、出口戦略に基づく交流・販売ネットワークの拠点と位置づけ、道の駅の運営会社に地域商社機能を付与し、「道の駅」を核として地域経済の活性化と交流人口の拡大など様々な取組みを行っている。



「道の駅のと千里浜」



公民連携によるまちづくりコース

(R1.12.4~5)

参加人員 5市 計8名

◎静岡県沼津市

沼津市は、「沼津市リノベーションまちづくり戦略会議」を開催し、市民の意見(延べ600人)を基に、リノベーションまちづくりの基本的な考え方や推進イメージを取りまとめた「沼津市リノベーションまちづくり推進ガイドライン」を策定。

空き家や空き店舗などの民間遊休不動産及び利用度の低下した公共施設・公共空間の活用を通じ、U・I・Jターンによる新たな人材やコンテンツを呼び込み、市民にとって楽しいまちに生まれ変わることを目標に取り組んでいる



◎愛知県岡崎市

岡崎市は、「公民連携取組方針」を公民連携の活用推進に関する上位理念として定め、公民連携を今後における成長戦略のキーワードの一つとして、また、行財政改革の柱の一つとして掲げている。

この方針を基に、持続可能で効率的・創造的・魅力的なまちづくりを目指すとともに、公民連携により生み出される新たな価値観を公共の福祉の一層の増進に繋げることを目指して、市を挙げた取組みを進めている。

